

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
1	
30 番 近 藤 彰 治	<p>1. (仮称) 上越市体操アリーナについて</p> <p>(1) (仮称) 上越市体操アリーナの年間ランニングコストが明らかになった。大潟体操アリーナも含めると 3,000 万円を超える。これでは、後年度負担がかかり過ぎるのではないかと思われる。将来を見通した財政的見地を聞きたい。</p> <p>(2) 多くの市民から建設に疑問の声がある中、市としてどのように市民に説明し、理解を得ていくのか改めて聞きたい。</p> <p>(3) 広報上越 2 月 15 日号に (仮称) 上越市体操アリーナの建設に向けてシリーズ①と銘打って掲載されたが、連載する真意を聞きたい。</p> <p>(4) この施設の目的、施設のコンセプトに照らして、建設費に見合うだけの費用対効果があるのか見解を聞きたい。</p> <p>2. 庁舎内禁煙化について</p> <p>(1) たばこを 1 日 1 本吸うだけで、急性心筋梗塞などのリスクは、吸わない人と比べてかなり高くなる。市職員に対し、たばこによる健康被害について学ぶ健康講座などを実施し、認識を高める措置を講じるべきと思うがどうか。</p> <p>(2) 喫煙に関して服務規程に抵触していないか。木田庁舎喫煙室の利用時間、公用車利用中の喫煙状況などを把握しているか。また、木田庁舎喫煙室利用者の市民・職員の割合を聞きたい。</p> <p>(3) 市民及び職員の健康を保持増進するため、職員から庁舎内における受動喫煙防止対策の提言がなされていないか。</p> <p>3. 今冬の降雪について</p> <p>(1) 今冬は、合併後最大に匹敵するような降雪であった。除雪に対して苦情の件数や内容等はどうか聞きたい。</p> <p>(2) 今冬の除雪中の事故について件数や状況を聞きたい。</p> <p>(3) 市内各所において、除雪後の道幅が十分でなく車のすれ違いが出来ない市道が数多く見受けられた。また、通学路においても危険箇所の排雪を望む声が数多く聞こえてきた。市としてどう対処してきたのか。</p> <p>(4) 今冬の大雪で消雪パイプの使用に伴う地盤沈下も生じたと思われるが、どこまで回復するのか聞きたい。</p> <p>4. 戊辰戦争に関係する市の対応について</p> <p>(1) 戊辰戦争から 150 年が経過した。当市においては戊辰戦争で尊い命を落とされた会津、薩摩、長州、土佐藩士の墓地が現存している。そこで、以下の点を聞きたい。</p> <p>ア 金谷山公園内には、会津墓地や戊辰戦争高田墳墓地、戊辰戦争神木隊釜子隊戦士の碑などが存続している。今後どのように維持管理を行っていくのか聞きたい。</p> <p>イ 昨年は会津若松市長と会津若松市議会議長が当市の会津墓地に墓参りに訪れた。市としてどのように対応したのか聞きたい。</p> <p>ウ 戊辰戦争 150 年特別展と称して展覧会を開催するが、展覧会だけでなく、戊辰戦争の歴史を巡る散策ツアーなどのイベントを開催する考えはないか。</p>

順位	
議席 氏名	質 問 事 項
<p style="text-align: center;">2</p> <p style="text-align: center;">31 番 永島 義雄</p>	<p>1. 観光政策の対応について</p> <p>(1) 新水族博物館開館後の五智、居多ヶ浜、春日山城などの歴史ゾーンへの回遊のための環境整備の状況を聞きたい。</p> <p>(2) 新水族博物館の開館により多くの観光客が見込まれるが、13 区や妙高、糸魚川地域との観光面での連携の構想を聞きたい。</p> <p>(3) 新水族博物館のオープンに際し、宣伝 PR をどのように考えているか。</p> <p>(4) 高田公園の桜の会場以外に第 2、第 3 の観桜会の会場の構想はないのか。高田地区の金谷山、春日山周辺を考える構想はないのか。</p> <p>(5) 国は、電線の地中化を推し進めているが、当市においても、仲町の観光整備の一環として、また、交通面、除雪面からも、早めに手を挙げるべきではないか。歩いて回る城下町としてふさわしい環境整備の考えを聞きたい。</p> <p>(6) 観光ガイドが重要と感じるが、当市の実情はどうなっているか。また、市としての考えはどうか。</p> <p>(7) 最近の観光は、体験型の観光政策に重点を置く町や市が多いが、当市としてどのような考えを持っているか。</p>
順位	
議席 氏名	質 問 事 項
<p style="text-align: center;">3</p> <p style="text-align: center;">20 番 杉田 勝典</p>	<p>1. 中小企業への支援策などについて</p> <p>(1) 中小企業における事業承継について、国の事業承継税制の抜本的拡充により、事業承継がスムーズに進み、当市における中小企業の存続へとつながっていくと考えているか。</p> <p>2. 生産調整廃止後の「強い農業」に向けた当市の施策の展望について</p> <p>(1) 農業施策では、稲作・園芸等の振興と合わせ基盤整備や担い手確保など幅広い事業が提案されているが、当市として最も重点を置くべき課題とその対策とは何か。また、その推進策をどう考えているのか。</p> <p>(2) 収入保険制度が始まるが、メリットやデメリットをどう捉えているか。また、当市における農業関係者の反応はどうか。</p> <p>3. 森林バンクの創設と森林資源の保全・活用について</p> <p>(1) 森の荒廃を防ぐ手段として、昨今、自伐型林業を進める自治体も出てきている。当市においても、荒れる小規模山林の再生のために、官民による自伐型林業チームを結成し、自伐型林業を後押しできないか。</p> <p>(2) 意欲と能力のある林業経営者に森林管理を再委託する森林バンクについても、当市として施策を展開する可能性は考えられるのか。</p> <p>4. 民泊サービスの今後について</p> <p>(1) 新潟県住宅宿泊事業の適正な運営の確保に関する条例(案)の施行を控え、当市における民泊サービスの可能性や広がりなどをどう見通しているか。また、課題や問題点にはどのようなものがあり、どう対応するのか。既存の宿泊業者とのすみ分けや宿泊業者への影響などはどう考えているか聞きたい。</p>

順位	
議席 氏名	質 問 事 項
4	<p>1. 健康と福祉について</p>
8 番 池 田 尚 江	<p>(1) 骨髄移植ドナー登録者のより積極的な増加策を図るべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) 平成 30 年度から介護報酬が改定されるが、平成 27 年度の改定からどのように改善されたのか。また、事業者の反応はどうか。</p>
順位	
議席 氏名	質 問 事 項
5	<p>1. 上越市中小企業・小規模企業振興基本条例について</p>
26 番 宮 崎 政 國	<p>(1) 中小企業の必要性を市民に周知するため、その役割や価値をどう伝え、魅力の醸成に取り組むか聞きたい。</p> <p>(2) 基本理念を各種施策に反映させ、中小企業の振興の取り組みを明確にしていく必要があると思うが、考えを聞きたい。</p> <p>(3) パブリックコメントにおいて、企業の自助努力を促進するのではなく、行政の支援を求めるなど、行政依存と思われる意見がみられたが、この傾向をどのように捉えているか聞きたい。</p> <p>(4) 市民が買い物に不便を強く感じるなど、市内の小規模小売業者の減少・衰退の進行が市民生活に大きな影響を与えている。こうした状況を踏まえ、市では消費者ニーズの動向をどのように捉え、小規模事業者の振興に向けてどのような対応を考えているのか。</p> <p>2. 上越市道路整備計画の実施状況について</p> <p>(1) 現計画は、平成 27 年度から 31 年度までを計画期間としているが、平成 23 年度から 26 年度までの前期計画に登載された事業のうち、現計画に引き継がれた件数はどの程度か。また、平成 31 年度までに「着手」する計画だが、完了するものはどの程度あるか。合わせて、次期計画の見通しはどうか聞きたい。</p> <p>(2) 現計画の登載事業以外の地域要望は、どの程度把握しているか聞きたい。</p> <p>3. 市道四辻町・稲田橋線の長面・上野田地内における消雪パイプの機能強化について</p> <p>(1) 本市道は、旧県道「上越・安塚・柏崎線」を県から譲渡された区間である。今冬は、消雪パイプの能力低下のため機械除雪とされたが、通勤・通学などの沿線地域の重要路線である。早急な機能強化が必要だと思いが対応を聞きたい。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
6	<p>1. 安心・安全なまちづくりについて</p> <p>(1) 当市の公用車のうち、防犯パトロールに使用している車は何台あるのか。</p> <p>(2) 防犯対策として、公用車にドライブレコーダーを搭載する考えはないか。</p> <p>(3) 先進市では、犯罪や交通事故等の捜査に活用してもらうため、警察から要請があった場合、公用車のドライブレコーダーの映像を提供する協定を結んでいるが、当市も協定の締結に向け協議を進める考えはないか。</p> <p>2. 認知症高齢者の徘徊（はいかい）対策について</p> <p>(1) 当市の認知症の人の数は、どのように推移しているか。また、徘徊（はいかい）が予想される高齢者の把握状況はどうか。</p> <p>(2) 当市では、認知症予防対策にどのように取り組んでいるか。</p> <p>(3) 市内には、多くの踏切が設置されており、徘徊（はいかい）による事故等が発生した場合、家族等が負担する賠償額は莫大になると懸念される。当市では、このような事態に備えて保険に加入し、徘徊（はいかい）が予想される高齢者とその家族を支援する考えはないか。</p>
5 番 山田忠晴	
順位	質 問 事 項
議席 氏名	
7	<p>1. 雪対策について</p> <p>(1) 6 年振りの大雪を踏まえ、現状の除排雪への評価と課題について聞きたい。</p> <p>(2) 高田市街地における狭あい道路への消雪パイプの整備計画について現況はどうか。</p> <p>2. いきいきスポーツ都市宣言のまち上越のあり方について</p> <p>(1) いきいきスポーツ都市宣言のまちとして、あるべき姿をどう描いているか。</p> <p>(2) そのなかで（仮称）上越市体操アリーナが果たす役割は何か。</p> <p>3. 認定こども園のあり方について</p> <p>(1) 人口減少社会、少子化の中、認定こども園の新設、配置などへの市の基本的な考え方を聞きたい。</p>
13 番 滝沢一成	
順位	質 問 事 項
議席 氏名	
8	<p>1. 統合後の浦川原小学校について</p> <p>(1) 浦川原小学校の統合から一年が経過するが、統合後の学校教育における成果と課題について聞きたい。</p> <p>2. 健康増進計画の新しい試みについて</p> <p>(1) 市では、新年度より「健康づくりポイント事業」を展開する。この事業は、18 歳以上を対象としているが、市では幼少期から成人期、そして高齢期へと切れ目のない生活習慣病予防に取り組んでおり、小中学生や高校生に向けても取組を検討できないか。また、検診受診、スポーツイベントへの参加、自主的運動、禁煙だけでなく、総合型スポーツクラブなどのスポーツ団体への加入や、心豊かに健康づくりを進める意味で図書館を利用した場合もポイントの対象とするなど、ポイントの対象とする活動範囲を広く検討し、健康づくりとともに、市内施設の利用促進や各種団体の活性化に向けた仕組みを作れないか聞きたい。</p>
10 番 石田裕一	

順位	質問事項
議席氏名	
9	<p>1. 地域おこし協力隊増員について</p> <p>(1) 当市は、平成 25 年に「地域おこし協力隊」制度を導入し、5 年が経過する。更なる増員を図り、隊員による地域での活動支援が期待される。協力隊を希望する地域の期待が大きい一方で、ともすると隊員が重圧を感じたり、思っている活動ができないなどの理由により、辞めてしまう事例もあるが、そうならないために、市としてどのように取り組む考えか。</p> <p>2. 休止施設の今後の取組について</p> <p>(1) 市町村合併後、かつてないスピードで人口減少、高齢化が進み、加えて地方交付税の減少で財政が厳しくなる中、休止する施設等が増加傾向にある。このまま、休止施設が増えると、将来世代に負担を先送りすることになる。施設の方向性について、地域住民にしっかり説明した上で、計画的に処分等をする時期に来ているのではないか。</p>
6 番 本 山 正 人	
順位	質問事項
議席氏名	
10	<p>1. 水道料金及び個人財産分の水道管設備に対する行政の関わりについて</p> <p>(1) 平成 17 年の合併から現在までの水道料金の推移について聞きたい。</p> <p>(2) 当市の水道料金が全国的に見て、どのような水準にあるか。また、今後の水道料金の見通しはどうか。</p> <p>(3) 今冬、県内では猛烈な寒波の影響により、個人所有の水道管損傷などが多く発生した。個人所有の水道管設備に対して、行政としてどのように関わっていく考えか。</p> <p>(4) 当市の水道事業を健全に行っていくために、市民に協力を求めることはあるか。</p>
9 番 田 中 聡	
順位	質問事項
議席氏名	
11	<p>1. 少子化対策について</p> <p>(1) 現在の市政運営上の諸課題の多くは、少子化、高齢化、人口減少に起因すると考えるが、中でも少子化対策は喫緊の課題である。少子化が急速に進む中、当面の対策と中長期的な施策について、市長の考えを聞きたい。</p> <p>2. 地域自治区制度のあり方について</p> <p>(1) 上越市の地域協議会は、13 区に設置してから 13 年、15 区を含めた全市域に設置してから 8 年が経過した。この間の活動状況を踏まえて以下の 2 点について市長の考え方を聞きたい。</p> <p>ア 自主的審議のこれまでの成果と課題</p> <p>イ 地域協議会とまちづくりに取り組む団体との関係</p> <p>(2) 地域活動支援事業は、区によって助成対象が異なり、公金の使い方にアンバランスが生じている。改善する考えはないか。</p> <p>3. 若者の農業参入について</p> <p>(1) J A 新潟中央会が募集した高校生意見文の最優秀賞に高田農業高校の男子生徒の作品が選ばれた。若者の農業参入と農業のこれからについて、地域に生きる自分のこととして捉えている姿勢と決意が多く共感呼んだ。高齢化や人口減少、耕作放棄地の増加などさまざまな課題を抱える中で、このような若者がいることについて市長の率直な感想と新規就農を進める上での思いを聞きたい。</p>
7 番 橋 本 洋 一	

順位		
議席氏名	質 問 事 項	
12		
11 番 櫻 庭 節 子	<p>1. 里親制度について</p> <p>(1) 当市にも何らかの理由で生みの親と暮らすことができない子どもたちがいるが、上越管内における、里親制度の直近 3 年間の実績を聞きたい。</p> <p>(2) 里親制度の窓口は児童相談所であるが、市民の理解を得るために市としてどう取り組んでいくのか。</p> <p>2. 家庭教育の推進について</p> <p>(1) 女性の社会進出が進む中、早い時期から保育所等に預けられる子どもが増えている。こうした現代日本の子育て事情に対して、「親の愛情体験不足」を懸念する専門家の意見や子育てすることが親自身を人間として成長させるという意味の「子育ては親育ち」という表現もある。市長は、家庭における「子育て」の重要性をどう捉えているか。今後の支援の考えも含めて聞きたい。</p> <p>(2) 当市では、文部科学省が推進しようとしている「家庭教育支援」の取組をどう受け止めているか。教育長は、家庭の教育力の向上という観点から見た時、現在の子育て環境の課題をどう捉えているか聞きたい。</p>	
順位		
議席氏名	質 問 事 項	
13		
12 番 小 林 和 孝	<p>1. 子どもリーダー育成事業補助金について</p> <p>(1) 2 年目となった子どもリーダー育成事業補助金について、募集期間の延長、事業の活用事例の紹介、Q & A の公開など改善を加えて実施した今年度の利用状況を聞きたい。</p> <p>(2) 利用状況についての評価と今後の方向性について聞きたい。</p> <p>2. 新水族博物館「うみがたり」について</p> <p>(1) 今年 6 月にオープンし、初年度は 60 万人の入館者を予定しているが、増加が見込まれる来越者の市内回遊をどのように促進していくのか。例えば、居多、五智、春日山への回遊など、歴史博物館の開館も見据えた今後の方策を聞きたい。</p> <p>3. 避難所の運営訓練について</p> <p>(1) 避難所の運営訓練をこの 3 月末までに 4 か所で実施することとしていたが、結果はどうかであったか。また、こうした訓練は重要であると思うが、今後も継続して実施する考えがあるか聞きたい。</p>	

順位	
議席 氏名	質 問 事 項
<p>14</p> <p>24 番 江口修一</p>	<p>1. 今後の行政改革の取組について</p> <p>(1) 第 3 次定員適正化計画の平成 34 年度の目標数値 1,789 人は、類似団体との比較においてこれで十分なのか。もっと外部に委託できる業務はないのか。</p> <p>(2) 施設等の修繕費、維持補修費等が増大している。公の施設の再配置計画及び公の施設等除却計画において目標を掲げて取り組んでいるが、人口規模に比べて施設が過剰な状況に鑑み、より具体的な目標を掲げ、取組を強化すべきと思うがどうか。</p> <p>(3) 事務事業の効率化と経費削減策の一環としてタブレット導入を考えられないか。</p> <p>2. 津波浸水想定について</p> <p>(1) 新たな津波浸水想定公表を受け、ハザードマップの改訂や危険区域のハード整備など今後の対応策を聞きたい。</p> <p>(2) 上越市立地適正化計画には、県が行う津波浸水想定図の改訂作業の結果が示された際には、津波浸水想定区域における家屋倒壊の危険性等を勘案し総合的に判断した上で本計画を見直すとしているが、どのように見直すのか。</p> <p>3. 直江津のまちの活性化について</p> <p>(1) 新水族博物館「うみがたり」の 6 月のオープンを見据え、直江津地区では、中心市街地の活性化に向け、街なか回遊策などの各種事業が進められているが、オープン後の人の流れをどのように調査・分析し、今後の施策にいかしていくのか。</p> <p>(2) 直江津地区は、うみがたりのオープン、駅前の開発や民間投資によるスーパーの出店などで大きく変わろうとしている。今後、新たな面整備等による活性化策を考えるべきではないか。</p>
順位	
議席 氏名	質 問 事 項
<p>15</p> <p>2 番 牧田正樹</p>	<p>1. 教職員の多忙化解消に向けて</p> <p>(1) 昨年実施された「教職員の勤務実態調査」から市内小中学校教職員の時間外勤務の状況はどうか。特に月 60 時間超の職員の人数 (割合) はどれくらいいるか。</p> <p>(2) 市内小中学校教職員の 3 か月以上の休職者及び休職者のうち、精神疾患が原因の人はどれくらいいるか。</p> <p>(3) 部活動の休養日や活動時間の設定と実態はどのようになっているか。</p> <p>(4) 各学校の出退勤管理はどのように行われているか。</p> <p>(5) 教育委員会として教職員の働き方の現状をどう考えるか。また今後、教職員の多忙化解消をどのように取り組んでいくか。</p> <p>(6) 市教育プランに「教職員の勤務実態」の調査結果の項目を追加すべきではないか。</p> <p>2. 介護従事者の人材確保について</p> <p>(1) 全国的に介護従事者の不足が言われているが、市内の介護施設の状況はどうか。また、市民サービスへの影響はないか。</p> <p>(2) 特別養護老人ホーム、老人保健施設の有資格者 (介護福祉士) の割合はどうか。</p> <p>(3) 他自治体では介護福祉士等の実務者研修受講に対する補助など様々な介護人材育成支援策を講じているところがあるが、当市の現状から今後の支援のあり方をどう考えているか。</p> <p>3. 上越妙高駅周辺の安全対策について</p> <p>(1) 都市計画道路薄袋荒町線、今泉交差点付近で幅員が極端に狭くなっており大変危険な状況にある。交差点以北について、早急に改良すべきではないか。</p> <p>(2) 県道後谷黒田上越妙高停車場線と市道上門前大和線交差点付近では、昨年だけでも二度冠水し、一時通行止めとなった。当該箇所は上越妙高駅に通じる重要な道路であり、早急に冠水対策を行うべきではないか。</p>

順位		
議席氏名	質 問 事 項	
<p>16</p> <p>22 番 飯塚義隆</p>	<p>1. 保倉川放水路の整備促進について</p> <p>(1) 関川流域委員会では保倉川沿川の治水対策の整備方針を放水路によるものと決定してから約 7 ヶ月経過する。市長自ら関係町内会に出向いてお願いするとしていたが、この間の取組と今後の計画を聞きたい。</p> <p>2. 冠水被害軽減対策について</p> <p>(1) 出水期に冠水被害を受ける地域の排水樋門に内水の排水ポンプの設置と機動力のある排水ポンプ車を購入し、冠水被害の軽減を図るべきと考えるがどうか。</p> <p>3. 有田小学校開校に伴う現況と小猿屋小学校校舎等の利活用について</p> <p>(1) 有田小学校の開校に伴い、春日新田小学校の児童数は、校区の変更により大きく減少した。この校区変更により改善される教育環境は何か具体的に聞きたい。</p> <p>(2) 小猿屋小学校の校舎等の利活用は、地域住民の意向を踏まえて全市的な視点で検討するとしてきたが、廃校後の利活用について具体的に聞きたい。</p> <p>4. 上越市公立保育園の再配置等に係る計画について</p> <p>(1) 保育園の再配置等に係る第 2 期計画の進ちょく状況と第 3 期計画に向けた取組について聞きたい。</p> <p>(2) 少子化により児童数が減少する中、有田地区では児童が増加している。公立 2 園、私立 4 園ある有田地区の保育園で保護者が希望する園に入園可能な状態にあるのか聞きたい。</p> <p>(3) 有田保育園は、築 28 年が経過し、かつ、園庭が狭く路上駐車等の苦情が多い。有田保育園と小猿屋保育園の現状をとらえ、有田地区における公立保育園のあり方について聞きたい。</p> <p>5. 公共施設解体時の基礎杭の取扱いについて</p> <p>(1) 建築物の基礎は建築基準法施行令に規定されているが、基礎杭の撤去についての法的な根拠はあるのか。</p> <p>(2) 解体中の水族博物館と来年度解体予定のクリーンセンターの基礎杭の取扱いはどうするのか。また、市の取扱いに関する規定等があるのか聞きたい。</p> <p>(3) 建築物解体撤去後の基礎杭の実態はどうか。また、地中にあるため事後の確認や撤去が容易でないが、管理台帳等で実態を把握しているのか聞きたい。</p>	
順位		
議席氏名	質 問 事 項	
<p>17</p> <p>21 番 栗田英明</p>	<p>1. 持続可能なまちづくりについて</p> <p>(1) 市の各種計画の中で「持続可能なまちづくり」という言葉が使用されているが、「持続可能」とはどういうことを指すのか。当市における「持続可能なまちづくり」の定義を統一しておくべきではないか。</p> <p>(2) 第 2 次財政計画の策定目的では、「計画的な財政運営により財政の健全性を保ちつつ、持続可能な行財政運営の基盤を確立することを目指す」としている。現時点では確立されていないことだが、目指している状態はどのような状態なのか。また、確立できなかった場合は、持続可能なまちづくりにどう影響するか。</p> <p>(3) 上越市立地適正化計画では、「上越市都市計画マスタープランで掲げた 4 つの基本方針を踏襲しながら、人口減少、少子高齢化社会に対応した持続可能なまちを目指す」としているが、目指すまちの姿が人口減少、少子高齢化社会に対応しているとする理由は何か。また、都市計画マスタープランにおける暮らしを支える拠点の構築は理解できるが、拠点地域以外の暮らしはどうか。</p> <p>(4) 第 6 次総合計画では、「市民とともにまちづくりを進める」とする市政運営の基本方針と「市民が主役のまちづくり」の政策が示されているが、持続可能なまちづくりには、地域や市民の理解と協力が不可欠である。一層の強化が必要ではないか。</p>	

順位	
議席 氏名	質 問 事 項
<p>18</p> <p>28 番 上 野 公 悦</p>	<p>1. 柏崎刈羽原子力発電所の重大事故時における避難計画と再稼働問題について</p> <p>(1) 避難計画について以下の点を聞きたい。</p> <p>ア 市長は、「実効性のある避難計画」とはどうあるべきと考えるか。</p> <p>イ 広瀬弘忠・東京女子大学名誉教授が行った「原発事故時の対応」などに関する住民への意識調査によると、UPZ（原発から概ね半径 5 km～30 km 圏内）に居住する多くの住民は、避難指示が出る前に避難を始めると回答している。市長はこれをどう見るか。</p> <p>ウ 原発事故は、大地震や津波、大雪などによる複合災害が予想される。1 人の被ばく者も出さない避難計画に見直すべきと思うがどうか。</p> <p>(2) 住民意識調査では、原発再稼働について半径 30 km 圏内全体で「反対」が過半数を占め、再稼働に必要とされる地元同意を得る範囲は、「30 km 圏内の市町村の同意も必要」との回答が圧倒的多数に上った。市長は、住民の意思を尊重し、原発再稼働反対、安心安全なエネルギー政策、廃炉工程への全面転換の立場に立つべきと思うがどうか。また、「協定」による現在の地元同意を見直すべきと思うがどうか。</p>
順位	
議席 氏名	質 問 事 項
<p>19</p> <p>16 番 橋 本 正 幸</p>	<p>1. 住宅リフォーム促進事業について</p> <p>(1) この事業を進めるに当たって、市内業者の要望をどのように把握しているのか。</p> <p>(2) 住宅リフォーム促進事業に社会資本整備総合交付金を活用できない中、一般財源で事業費を確保したとのことだが、事業の市内経済における効果を鑑み、前年並みの予算措置を確保すべきではなかったのか。</p> <p>2. 通学路の安全確保について</p> <p>(1) 通学路のチェック体制が整備されたが、その後の状況把握や整備状況について明らかにされたい。</p> <p>3. 歩道整備について</p> <p>(1) 市内の歩道整備について、狭あいな歩道や車道との段差のある歩道、凹凸のある歩道等、市民の利便性や安全な通行に支障のある歩道の状況をどのように把握しているか。また、今後の対策をどうするのか。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	質 問 事 項
20	<p>1. 今冬の大雪について</p> <p>(1) 除雪時の事故をはじめ、農業分野などにも被害が出ている。また、公共交通機関が運休するような事態もあった。それらに対する実態把握と課題の整理についてどうであったか聞きたい。</p> <p>(2) 今冬は、寒い日が続き、市内でも水道管破裂・漏水が多発した。その実態と支援策について聞きたい。</p> <p>(3) J R 東日本やえちごトキめき鉄道、頸城自動車などの運行が大幅に乱れ、通勤や通学など市民生活への影響は甚大だった。市として、J R 東日本など各社に対して除雪体制の強化や公共交通機関としてふさわしい役割を果たすよう求めてきたと思うが、その概要を聞きたい。</p> <p>(4) 今冬の大雪では、観測地点の見直しの必要性が出てきている。市長の見解はどうか。</p> <p>(5) 道路除雪において、産業建設グループの集約はどうか機能したか。実態と評価を聞きたい。</p> <p>2. 上越市庁舎再編（配置の最適化）の基本方針の策定について</p> <p>(1) 木田第 1 庁舎を基幹庁舎として位置付け、耐用年数まで使用を継続することとしたうえで目標使用年数を 80 年に設定している。基本方針の策定に当たって重視してきたポイントは何か。</p> <p>(2) ガス水道局の新庁舎構想について聞きたい。</p>
順位	質 問 事 項
議席 氏名	質 問 事 項
21	<p>1. 子どもの貧困対策について</p> <p>(1) 当市の子どもの貧困について、実態をどのように把握しているか。また、実態把握のためにどのような手立てを講じる考えか。</p> <p>(2) 子どもの貧困への対策として、どのような手立てを講じているのか。</p> <p>2. J R 在来線のダイヤ改正について</p> <p>(1) 今春のダイヤ改正による市民生活への影響をどのように考えているか。また、市民生活を守る上で市として J R にどのように働きかけていく考えか。</p> <p>3. 医療費助成制度について</p> <p>(1) 県単医療費助成事業のうち、重度心身障害者医療費助成事業の対象に「精神障害者保健福祉手帳 1 級の交付を受けている人」が新たに加わったが、2 級まで拡大することが必要と考える。実施主体が市であることから、県に強く働きかけながら、対象拡大を図る考えはないか。</p> <p>(2) 妊産婦医療費助成について、所得制限を撤廃する考えはないか。</p>
15 番 平 良 木 哲 也	

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
22	<p>1. 国宝太刀の寄附金返還における税金の取扱いについて</p> <p>(1) 国宝太刀取得のための寄附金を返還するが、既に寄附金控除を受けた場合の税の取扱いについて国税庁に問い合わせるとしていたが、どのような取扱いになったのか。</p>
3 番 丸 山 章	<p>2. 財政健全化について</p> <p>(1) 箱物建設が続いているが、今後、10 年、20 年後の人口減少等による財政規模の縮小が予測される中で、何をもって将来の健全財政維持の判断をするのか聞きたい。</p> <p>(2) 平成 52 年度の将来人口の推計値が約 156,000 人となっている。今後、基準財政需要額(高齢化率による社会保障費増加分を除く。)が減少する大きな要因としてどのようなものが考えられるか聞きたい。</p> <p>(3) 災害対応等のため最低限必要な残高として 25 億円を維持しつつ、財政計画を上回る水準の基金残高が確保されるよう努めるとしているが、適正な基金残高は標準財政規模のどの程度と考えているのか。</p> <p>(4) 直近の市債残高の額と合併特例債発行済額を聞きたい。また、市債残高のうち、交付税が措置される額はどれほどになるのか聞きたい。</p> <p>(5) 元利償還金の 70%が後年度において普通交付税の基準財政需要額に算入される合併特例債について、交付税の内訳で明らかになっているのか聞きたい。</p> <p>3. スポーツ環境(施設)の整備について</p> <p>(1) (仮称)上越市体操アリーナ建設のための予算が提案されているが、今後のスポーツ施設(野球場等)の整備をどのように考えているのか。また、将来を見据えた立地場所について、「分散型」、「集約型」、どちらの方向性なのか聞きたい。</p> <p>(2) 今後の総合運動公園の活用をどのように考えているのか聞きたい。</p> <p>4. 少子化対策について</p> <p>(1) 直近 5 年間ににおける当市の少子化対策による効果について、出生数、結婚数、合計特殊出生率の状況をどのように分析しているか。</p> <p>(2) 平成 30 年度予算に新たな対策が盛り込まれたものの、根本的な問題解決には至らないと考える。待ったなしの少子化防止対策について、この先どのような戦略を描いているのか聞きたい。</p> <p>(3) ある調査によると、お金がかかり過ぎるから 2 人目以降の出産を控えるとする一方、職場の理解が得られればもう一人子供を持ちたいとする意見もある。経済的負担の軽減はもとより、企業・団体等への理解を得るなど、少子化対策の調査研究や実施計画作成などに総合的に取り組む市長直轄の少子化対策特命チームを組織し、将来を見据えた大胆な施策導入を図っていくことが大切と考えるがいかがか。</p>